



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月13日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL https://www.sfoods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 湯浅 庸介 (TEL) 0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	262,238	8.1	13,376	41.2	13,852	42.8	9,220	8.7
2021年2月期第3四半期	242,694	△7.0	9,476	30.6	9,698	28.4	8,481	104.9

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 10,158百万円(20.0%) 2021年2月期第3四半期 8,465百万円(298.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	291.67	—
2021年2月期第3四半期	267.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	191,063	102,491	50.1
2021年2月期	172,394	94,507	51.0

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 95,705百万円 2021年2月期 87,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	32.00	—	32.00	64.00
2022年2月期	—	35.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	355,000	8.4	17,000	34.8	17,500	34.7	11,500	15.4	363.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期3Q	32,267,721株	2021年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	652,801株	2021年2月期	658,707株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期3Q	31,612,416株	2021年2月期3Q	31,650,393株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、国内の新型コロナウイルスの感染者が減少に転じ、10月1日には4回目の緊急事態宣言も全国的に解除となりました。これにより徐々に経済活動が復活しつつありますが、物流や原料のコスト上昇が回復の足枷になっております。当食肉業界においても、食肉原料の高騰という不安要因はあるものの、外食業などでは明るい兆しが見えてきました。

このような状況のもと、当社グループは、食肉の生産から小売り・外食まで一貫して携わる食肉事業の垂直統合を戦略的に行っている総合食肉企業集団として、食肉商品の安定的供給に努めました。

食肉等の製造・卸売事業においては、需要が高価格帯から低価格帯の食肉や部位にシフトしたり、円安や海外での需要増により原料の価格が高騰するなど、需給バランスが崩れる中、お客様に商品を安定的にお届けすることを優先課題として諸施策を行いました。衛生面については、引き続き、仕入れ、生産、販売の各職場において、感染防止のための衛生管理の徹底、勤務体制の見直しなどを行い、業務環境の整備を徹底しました。当面はコロナ禍の完全な終息は見込めないことと将来の備えのため、感染症や事業継続に関する社内啓蒙活動は継続して行っております。

食肉等の小売事業においては、対策本部において意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

食肉等の外食事業においては、期間中で三度にわたる緊急事態宣言と、まん延防止等重点措置により、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業や時短営業を余儀なくされる事態となりました。コロナ禍の自粛ムードも含め、今後とも当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定していますが、最優先すべきはお客様と従業員の安全との前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防策を徹底した上で営業を継続していく方針です。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、昨年を引き続き小売店向けの販売が堅調に推移したことに加え、外食店向けの販売におきましても回復の兆しがみられることから、売上高2,622億3千8百万円（前年同四半期比8.1%増）、営業利益133億7千6百万円（前年同四半期比41.2%増）、経常利益138億5千2百万円（前年同四半期比42.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益92億2千万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は2,398億2千1百万円（前年同四半期比8.8%増）、セグメント利益は131億8千8百万円（前年同四半期比43.7%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は182億6千7百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は11億4千8百万円（前年同四半期比15.1%減）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は31億2百万円（前年同四半期比15.3%減）、セグメント損失は2億8千9百万円（前第3四半期連結累計期間2億8千6百万円の損失）となりました。

④その他

売上高は10億4千7百万円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント利益は2千2百万円（前第3四半期連結累計期間5千9百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて186億6千8百万円増加し、1,910億6千3百万円となりました。これは主に、たな卸資産が増加したこと及び売上高増加に伴う売上債権が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて106億8千3百万円増加し、885億7千1百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務が増加したこと及び借入金が増加した一方で、法人税、住民税及び事業税の支払いに伴う未払法人税等が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて79億8千4百万円増加し、1,024億9千1百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績推移等を踏まえ、2021年4月14日に公表した2022年2月期通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2022年1月13日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,284	39,506
受取手形及び売掛金	32,754	39,149
商品及び製品	20,286	31,338
仕掛品	1,630	1,722
原材料及び貯蔵品	3,965	4,835
その他	3,550	5,913
貸倒引当金	△61	△72
流動資産合計	102,409	122,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	55,371	56,285
減価償却累計額	△25,795	△27,510
建物及び構築物（純額）	29,575	28,775
土地	15,152	15,244
その他	34,501	36,216
減価償却累計額	△23,676	△25,294
その他（純額）	10,825	10,922
減損損失累計額	△3,162	△3,296
有形固定資産合計	52,391	51,644
無形固定資産		
のれん	100	287
その他	537	533
無形固定資産合計	637	821
投資その他の資産		
投資有価証券	13,220	12,667
退職給付に係る資産	118	137
その他	3,823	3,602
貸倒引当金	△206	△204
投資その他の資産合計	16,955	16,202
固定資産合計	69,984	68,668
資産合計	172,394	191,063

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,032	31,019
短期借入金	7,825	13,679
未払法人税等	3,578	1,196
賞与引当金	1,023	2,001
その他	12,107	11,071
流動負債合計	48,568	58,969
固定負債		
社債	550	450
長期借入金	24,052	24,853
役員退職慰労引当金	220	169
退職給付に係る負債	1,928	1,926
その他	2,568	2,202
固定負債合計	29,319	29,601
負債合計	77,887	88,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,723	18,739
利益剰余金	62,805	69,907
自己株式	△414	△410
株主資本合計	85,412	92,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,826	2,483
繰延ヘッジ損益	△3	13
為替換算調整勘定	△281	660
退職給付に係る調整累計額	15	13
その他の包括利益累計額合計	2,557	3,171
非支配株主持分	6,536	6,786
純資産合計	94,507	102,491
負債純資産合計	172,394	191,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	242,694	262,238
売上原価	204,689	219,913
売上総利益	38,005	42,325
販売費及び一般管理費	28,529	28,948
営業利益	9,476	13,376
営業外収益		
受取利息	40	16
受取配当金	249	301
受取家賃	100	98
持分法による投資利益	19	7
その他	401	398
営業外収益合計	810	821
営業外費用		
支払利息	198	197
アレンジメントフィー	106	—
為替差損	81	26
賃貸原価	34	34
その他	168	88
営業外費用合計	589	346
経常利益	9,698	13,852
特別利益		
固定資産売却益	4,069	10
投資有価証券売却益	31	3
補助金収入	548	710
受取補償金	3	1
特別利益合計	4,652	725
特別損失		
固定資産処分損	191	240
減損損失	45	161
店舗閉鎖損失	42	0
店舗休止等損失	216	363
固定資産圧縮損	443	—
投資有価証券評価損	61	—
その他	—	3
特別損失合計	1,001	770
税金等調整前四半期純利益	13,349	13,807
法人税等	4,606	4,261
四半期純利益	8,743	9,545
非支配株主に帰属する四半期純利益	261	325
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,481	9,220

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	8,743	9,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	△342
繰延ヘッジ損益	0	16
為替換算調整勘定	△239	942
退職給付に係る調整額	7	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△0
その他の包括利益合計	△277	613
四半期包括利益	8,465	10,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,178	9,834
非支配株主に係る四半期包括利益	287	324

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	220,373	17,621	3,662	241,657	1,037	242,694	—	242,694
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,758	55	246	6,060	339	6,400	△6,400	—
計	226,131	17,677	3,909	247,718	1,377	249,095	△6,400	242,694
セグメント利益 又は損失(△)	9,176	1,352	△286	10,242	△59	10,182	△706	9,476

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△706百万円には、セグメント間取引消去260百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△966百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	239,821	18,267	3,102	261,191	1,047	262,238	—	262,238
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,740	4	337	6,082	510	6,592	△6,592	—
計	245,561	18,271	3,440	267,273	1,558	268,831	△6,592	262,238
セグメント利益 又は損失(△)	13,188	1,148	△289	14,047	22	14,069	△692	13,376

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△692百万円には、セグメント間取引消去310百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,003百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。